

留学体験談

国際学部国際文化学科

21016030

金子 陽風

留学期間中に私が1番印象に残っていることは、韓国人留学生との交流です。クラスが同じだったことや、同じ寮に住んでいたこともありとても親密な仲になりました。

彼女たちと出会ってすぐの頃はお互い言語が壁になっていたからか、なかなか交流がありませんでした。しかし、留学が始まってから数週間経った頃、日本人留学生と韓国人留学生と一緒に映画祭に行きました。そのイベントで少し話してから私たちは急激に仲良くなりました。最初はお互いがロシア語を使って会話をすることが困難だったので、英語を中心に、時々わかるようになったロシア語を使うなどしてなんとか会話をしていました。会話の内容は、お互いの第一印象や、それぞれの国の有名な食べ物や、名所の話など様々なことについて話したのを覚えています。そこで私は感動したことがあります。英語もロシア語も私たちは完璧に意思疎通が出来るほど話すことはできませんでした。しかしこんなにも楽しく会話ができ相手のことを理解することが出来るものだと驚きました。最初は、言語が壁になっていたから仲良くなることができないと思っていましたが、そんなことはありませんでした。何かひとつ話す機会や、お互いのことを知る機会さえあれば仲良くなることはできるのだと感じました。

それから彼女たちはよく私たちの部屋に遊びに来てくれるようになり毎日いろんな話をしました。

お別れの1ヶ月ほど前からは今までよりもさらに仲良くなり週末にはみんなで集まってパーティーを何回かしました。

彼女たちは私たちより1週間早く帰国したのですが、彼女たちがいなくなってからの1週間はとても長く感じ、空虚なものに感じました。出会ってから4ヶ月も経っていないのにこんなにも仲良くなれるのだなととても嬉しく思いました。

今でも彼女たちとは頻繁に連絡をとっています。正直この留学で日本人以外の人と関わることは少ないので外国人と友達になるチャンスも少ないですが、そんな中でもこんなにいい友達できて本当によかったです。そして彼女たちとは今年の夏に日本で会う約束をしました。外国人の友達をつくって日本のいいところを紹介したり一緒に旅行したりすることは私の夢でもあったのでとても楽しみです。

この4ヶ月の留学生活がこんなにも充実していて、大変な勉強を頑張れたのも、毎日が楽しかったのも彼女たちのおかげだと思います。この留学で出会った友達をこれからも大切にしていきたいです。

